

3月8日(土)「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回は、ゲストに、**蔦谷昌一さん**をお迎えして「**63歳！人生で初めてのボランティア体験**」をテーマに、お話していただきました。**参加者は17人**でした。

退職した年の6月に、娘さんから、「お父さん、家で、ぼけっとしてないで、これに応募してみたら？」と勧められたのが…**広報ひろさき**の「全国城下町シンポジウムの**ボランティア募集**」で…**弘前市ボランティア支援センター**に「私にもできるでしょうか？」と電話をした際に「年齢は関係なく、**どなたでもできますよ**」って言ってもらったことで、**不安はあったけども、参加してみることにした**そうです。

仕事をしていた時は、ボランティアのボの字もなく、むしろ「**何で、お金にもならないことをしているんだろう？**」と…どちらかというボランティアに対するイメージは、**否定的な思いも**あったそうです。ところが、**実際に体験してみると**、**肉体的には疲れたけれど、精神的には**、会社人生では味わったことのない爽やかな**感動と充実感**で、とても**満足な気持ちと感謝**でいっぱいになったそうです。そして、「**その日の晩酌が、いつも以上においしかった**」と…高揚しながらお話して下さいました。

その後、さまざまなボランティア活動をした他に、**社会福祉法人の第三者委員**を務めたこともあり、**初めて障がいのある人と接した時には**、みなさんの**明るさに、勇気づけられ**、勉強にもなりました。**活動を通して多くの仲間と出会うことができ**、視野も広がり、**対価を求めず、誰かの役に立つことに喜びを感じる人がたくさんいる**と知って、世の中捨てたもんじゃないなと思ったと…そして、これからも、**元気なうちはボランティアを続けたい**と話していました。

蔦谷さんのお話は、分かりやすく、参加者の心に響くような**楽しいお話**ばかりでした。

参加者からは～ボランティアの形が、いろいろあるんだなあと感じました。

きっかけも大事だが、**ボランティアは、自分のためになるんだ**と思いました。

自分は、お世話になった身で、恩返しに何かしなければと、ずーっと気になっていたけれども、**無理に力を入れなくてもいいんだ**と分かって安心できました。

ボランティアに対するハードルが低くなって、**気軽に参加してみようかな**と思えるようになりました。などなどの感想をいただきました。

平成25年度の「ほっと・ぼらんていあ」は、今回で終了です。みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるように、今後も2か月に1回開催予定です。**次回**は、日程と内容が決まりましたら、みなさんにお知らせさせていただきますと思っています。気軽に参加して頂けたら嬉しいです。